

# 戦争体験を 語って下さる方 を探しています

生活文化政策部 人権男女共同参画課

せたがや未来の平和館

(世田谷区立平和資料館)





# せたがや未来の平和館

(世田谷区立平和資料館)

世田谷公園の中にある平和のため  
の施設です。



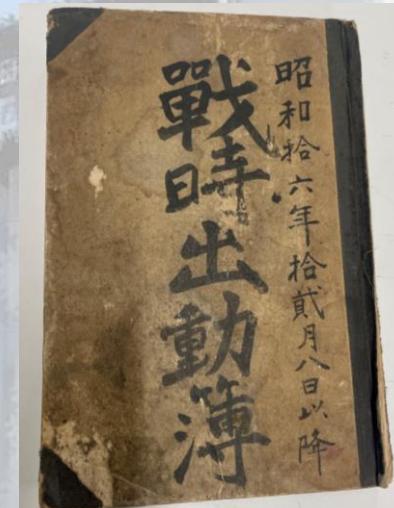
# 常設展では戦時中のものを展示しています



被爆したワンピース



空爆積木



警防団の戦時出勤簿



防火訓練の写真

# 体験者の証言をもとに展示を作成しています



## 町から文教地区へ(代沢)

たしたちが代沢に来たのは、そのころの代沢一丁目は、わたくしがりの雑木林でしたね。そのころの世田谷はどこを見ても、野砲隊、近衛師団、駒場の練兵場もすぐ近くでしたから、うけになるんです。

戦後は文教地区になりました。国有地でしたから学校が立派な建物で、筑波大付属中・高校、練兵場のあとにはNTT研究所、陸軍獣医学校跡地ですよ。航空研究所のあとには宇宙研、マツ文学館。

(T-Nさん 1922年生まれ「父のユニークな家庭教育」『里から町へ』P282-283)



## 遊び場に馬の骨が

陸軍獣医学校の向かい側に住んでいた丹後さん(昭和15年生まれ)は小さい頃、出入りする獣医さんと馬をよく見ていました。5月25日の空襲で陸軍獣医学校がほぼ全焼しましたが、そこにいる多くの馬は空襲で犠牲になりました。戦後焼けた敷地で友達と遊んでいたら、そこに馬の骨がたくさん残っていたと記憶しています。また、同じく淡島通り沿い、現在の代沢一丁目に住んでいた野田さん(昭和14年生まれ)は空襲の夜、炎に包まれた陸軍獣医学校から一部の馬が走って逃げていくのを見て、怖かった思い出があるそうです。



## りくぐんじゅういがっこう 陸軍獣医学校



時 期：明治42年（1909年）

現住所：代沢1丁目

（参考）[www.setagaya-tourism.jp/landmark/kyogenjigoku.html](http://www.setagaya-tourism.jp/landmark/kyogenjigoku.html)



現在の様子



## きへいだいいちれんたい 騎兵第一連隊



現 在 の 様 子



令和2年（2020年）5月 撮影

- 世田谷区の地図に戦跡、体験者の証言をピン留めして掲示しています。

# インタビュー映像

## 撮影風景



DVD



YouTube

令和5年度に収録したせたがや未来の平和詠歌DVD

### 戦争体験インタビュー映像 YouTube公開スタート!

増田陽子さんは小学校6年生で世田谷から長野県の松本市へ学童疎開をし、女学校1年の時に世田谷の空襲を体験しました。子ども時代に体験した戦争と平和への思いについてお話ししていただきました。

私が  
軍国少女  
だったころ

梅津政之輔さんは、中学生のときに横浜の工場に勤員されました。工場での空襲や、川崎の空襲、少年時代に体験した戦争のお話をしてくださいました。

戦争の中にいた  
少年時代

中村昭三さんは、中学校2年生から工場に勤員され、卒業後は陸軍の輜重兵として召集されました。青年時代を振り返って今の平和への思いをお話いただきました。

「君たちはどう生きるか」は  
今も、僕の半生の足場になっています

QRコード

QRコード

QRコード

# 戦争体験者から「語り部」へ

丹後さんは5歳の時に体験した空襲について、出前授業や、まち歩きツアーなどでお話して下さっています。



# 戦争体験者から「語り部」へ

増田さんは、学童疎開や、女学生の頃の体験も話してくださいました。



# 戦争体験者から「語り部」へ

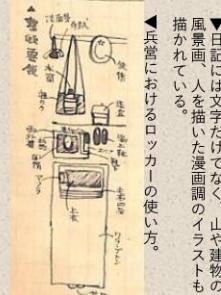
中村さんは、学生時代に勤労動員や輜重兵としての徴用された体験、戦後も戦時中に受けた教育から葛藤があったお話をしてくださいっています。



# 手記や写真、実物も探しています！



▲「教練手簿」に記された、軍靴の靴紐の結び方。



開催期間：2023年3月3日（金）～4月30日（日）

◆入館時間：9:00～17:00（入館は16:45まで）

◆入場：無料

◆休館日：毎週火曜日

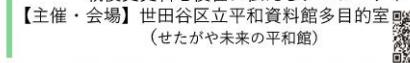
（火曜日が祝日の場合はその翌日）

【企画】昭和女子大学

戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト

【主催・会場】世田谷区立平和資料館多目的室

（せたがや未来の平和館）



世田谷区立平和資料館 〒154-0001 世田谷区池尻1-5-27 世田谷公園内 Tel03-3414-1530

## 企画展 世田谷区民が送った兵営生活 ～栗林一路を例にく～

世田谷区立平和資料館×昭和女子大学戦後史P

世田谷区には、区民の方々に寄贈していただいた史料が保管されています。今回企画展では、栗林一路（くりばやしいちろう）さんの日記を、昭和女子大学の学生たちが紹介します。

一九二四年に生まれた栗林さんは、青春時代を青山学院大学で過ごし、山岳部の活動に情熱を注ぎました。戦時には学徒動員され、兵隊に入りました。彼が几帳面の活

書いた日記には、人生を通して愛した山のこと、戦時のめまぐるしい雰囲気、その他様々な出来事が、ユーモラスなイラストと共に綴られています。

栗林さんにとって兵隊になることは、死を意識することでした。栗林さんの日記を通し、戦時の中の日常、日常の中の戦時について考える機会にしてみませんか？

# 手記や写真、実物も探しています！



ご協力をよろしく  
お願い致します

---

せたがや未来の平和館  
(世田谷区立平和資料館)

